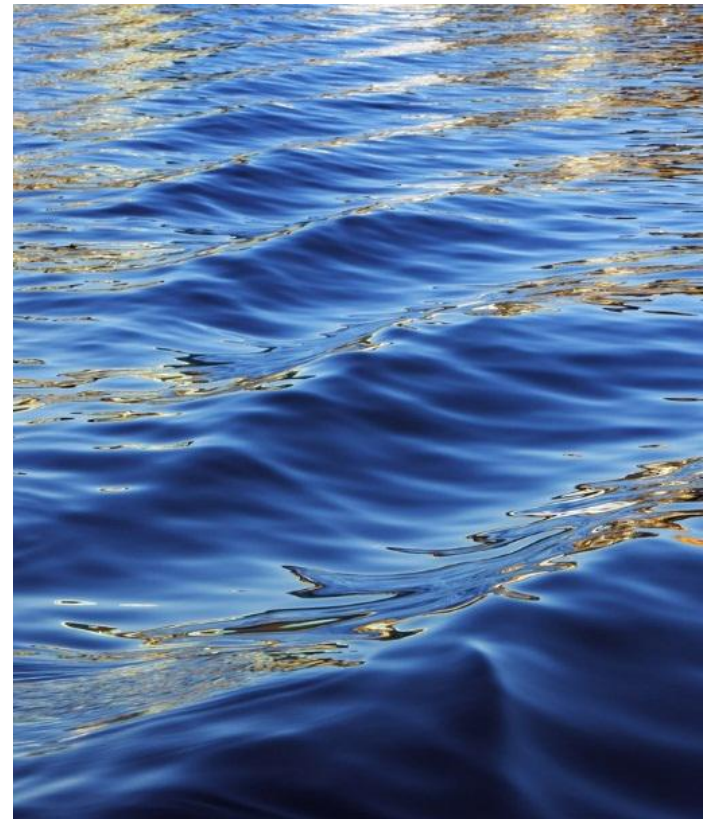


若者の環境意識向上 を目指して

甲府気候若者会議



甲府気候若者会議

- 2021年4月30日に設立
- 「若者の環境に対する意識を高めたいという思いから、題への意識を若者に持たせるためにできることとは何か」を考える
- 本年、初めての団体活動として2つのイベントを企画、実施

活動の目的

- 対象者：若者 大学生、高校生、中学生等
- 若者の環境に対する意識を高める
- 興味関心を持たせられるようなイベント等を企画・開催
- レクチャーを通して環境問題に気付き、地球を守りたいと思う若者育成を目指す
- 環境に対する、多角的な視点からの意見や対策方法を共有することで、個人が大きな視野で環境に向き合う姿勢を養う

第1回甲府気候若者会議

テーマ『本当の気候変動とは？このまま進むと地球はどうなるの？』

日時：令和3年8月28日（土）

13時～16時

場所：オンライン開催（zoom使用）

※甲府市総合市民会館にて対面開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響により当館が臨時休館となりオンライン開催へ変更

来場者数：29名（内訳：参加者21名 講師2名 スタッフ6名）

参加者数：21名

参加申込者数：24名

講師：室橋裕貴
高橋理都子

日本版気候若者会議 事務局員

日本版気候若者会議 事務局員

日本若者協議会代表理事

Japan Youth Platform for Sustainability(JYPS) 政策部

内容

1. 講師2名による講演

第1部 室橋裕貴講師 『気候変動の現状と国内外の取り組み』

第2部 高橋理都子講師 『若者が気候変動に対してできること -日本版気候若者会議の紹介を中心に-』

2. 参加者同士によるグループワーク

21名の参加者を5人程度ずつ4グループに分け、グループワークを実施。

それぞれの講演の後、講師に直接質問したいことをグループで話し合いの上決定し、質問。

3. まとめのセッション

1部2部の講演を振り返りながら、『気候変動に対し興味関心の薄い人にどんな言葉をかけることができるか』参加者全員で考える

参加者からの声・成果

- ・ イベント後アンケートを実施。17名から回答を得る。

とっても勉強になるイベントでした。（20代）
講演を聞くだけでなく、参加者方々と環境についてお話できる機会を持てたことが良かったです。（10代）
今回このような会議を通して、改めて気候変動の恐ろしさに気づきました。また、この会議で得た知識を身近な人に伝えていくことでより良い未来を作っていけるのではないかと感じました。とても有意義な時間でした。ありがとうございました。（10代）
皆さんレベルが高くてついていけないこともあったけど自分の意識を高めるいい機会になりました。ありがとうございました（10代）
参加前は、気候変動についてなんとなく問題意識を持つ程度でしたが、 <u>今回の若者会議を通して、気候変動は今すぐに取り組まなければならない問題だと気づかされました。</u> ありがとうございました！（10代）
ロンドンから参加をさせて頂きました。国連の方と知り合いになり、COPに招待されるようになって、脱炭素、地球温暖化に関心を持つようになりました。皆さんの活動が大きな成果を生みますように！（40代）
今日環境問題について <u>たくさんの人の考えに聞いて、いろいろな立場から見た環境問題にもほんとうに勉強になりました。</u> ありがとうございました。（20代）
臨界点をこえると、仮に気温上昇が止まったとしても、グリーンランド氷床が溶け続けてしまうと知り、とても危機感がわいたし、これから周りの友達や家族に共有していこうと思いました。（10代）
イベントを通じて、他の若者と一緒に環境について議論を深まり、知識がたくさんインプットされました。とても意義がある時間を過ごせました。ただ、休憩時間が短くて、イベントの時間が少々長かったです。（20代）
グループの方が非協力的で少し困りました…。ただお話自体はとても興味深く、貴重な経験となりました。ありがとうございました。（20代）
環境問題について表面的ではなく、深く学ぶことができた。対面で行えたら共有活動などが、より活発になったと思う。（20代）
様々な意見、情報を皆さんと共有することができ、とても充実した時間でした。気候危機の問題は、その他SDGsとも関係する部分があると思うので、気候変動からさらに視野を広げて色々な社会問題について考えたいと思います。（20代）
気候変動について詳しく知ることができました。グループワークを通し様々な意見を聞くことができたので良かったです。私たちがどんどん関心を持ち解決策を考え行動していきたいです。次の活動は予定があれば友達を連れて参加したいと思いました。（10代）
<u>気候変動についての知識があまりありませんでしたが、今日の公演を聞いて沢山の知識を増やすことができました。</u> またグループセッションを通して自分の考えを深めることができました。とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。（10代）
気候変動について深く学べてとても有意義な時間でした。 <u>今回の会議で我々一人一人の力が社会を変えることを再認識することができてとても良かったです！！</u> （10代）
環境について勉強し、意見交換をする機会をいただけて本当に良かったです。現在「若者」と呼ばれる私たちは環境について気づいていることはあっても行動に移すのが面倒だったり、目をそらしてしまいがちなので <u>このような機会に参加して危機感を覚えるということがとても重要だと感じました。</u> 私も誰かに伝えていけるようにしたいです。本日はありがとうございました。（10代）

第1部 『気候変動の現状と国内外の取り組み』

IPCC（気候変動に関する政府間パネル）
「1.5度特別報告書」2019年8月

●気候変動は、既に世界中の人々、生態系及び生計に影響を与えている。
現行の進行速度では、地球温暖化は2030～2050年に1.5度に達する。
(2021年8月9日IPCC 2021～40年に1.5度に達する)

●地球温暖化を1.5度に抑制する事は不可能ではない。しかし、社会のあらゆる側面において前例のない移行が必要である。
CO2排出量が2030年までに45%削減され、2050年頃には実質ゼロに達する必要がある。
(人間活動の温暖化への影響は「疑う余地がない」)

●地球温暖化を1.5度に抑制する事は、持続可能な開発の達成や貧困の撲滅等、気候変動以外の世界的な目標とともに達成しうる。

●社会・経済への影響・リスクに関する予測
マラリア及びデング熱などの一部の動物媒介感染症によるリスクは1.5度から2度の気温上昇に伴って増大し、感染症が発生する地理的範囲が遷移する可能性がある。

JYC 日本若者協議会

質疑応答タイム

全グループ共有 5分間

室橋さんに質問したいことを書いてみよう！

① AI化と脱炭素は同時進行できるのか？そのためにはどのような工夫が必要か？

② 山梨県の4per milleもCO2の削減目標の一環なのですか？
また、CO2の削減目標や、再エネへの転換などは問題の解決策として提示されているが、それらを引き起こす新しい問題についてはどのように対策していくべきでしょうか？

③ ほとんどの国が2050年までにCO2の排出をゼロにするという目標を掲げていますが、実際1.5特別報告書で2030年までに世界平均気温の上昇を1.5℃までに抑えきれないというのに対して、2050年の目標を達成する可能性は今のところ何%あると思いますか？

④ 脱炭素ビジョンのEVについて、排出量を減らすためにわざわざ高級なものを買う人がいるのか？どうしたら環境への意識を芽生えさせるのか？

第2部 『若者が気候変動に対してできること -日本版気候若者会議の紹介を中心に-』

なぜ、気候若者会議か？

日本版気候若者会議の意義と効果は以下の6つである。

- ① 「本当により良い社会を作ろうとしているか」を問うリトマス紙になること
- ② 若者の大きな声として可視化することができること
- ③ 日本で気候市民会議が実施される際のハードルを上げること（最低限の基準を若者たちでつくること）
- ④ 世の中も、若者も次のステップである社会変革の実行フェーズに入ること
- ⑤ 若者自身で未来を作っていくこと
- ⑥ 2030年までに温室効果ガス46%削減がどれほど難しいことかを知ること

質疑応答タイム

全グループ共有 5分間

高橋さんに質問したいことを書いてみよう！

① 同世代の人たちに興味を持ってもらうにはどうしたら良いか？また、環境教育を受けていない上の世代の意識を変えるためにできることは？

② 若者とどのくらいの年齢の人のことを指しているか。また、若者の枠を外れた人々が活動を継続させていくためにはどのようにしていくべきか。↑

③ 気候若者会議がイギリスなど他の国でも行われているが、日本で気候若者会議をするときに他の国との差別化をしようとして工夫したところはあるか。

④ (感想) 若者が取り組むということについて、義務教育でも気候若者会議のような取り組みを行うことができればよいのではないかと考えました。現状を知るだけでなく、「どうすれば良いのか？」を具体的に考えたり、提言したりすることをもっと若いうちから経験できれば良いと思いました。

イベント風景

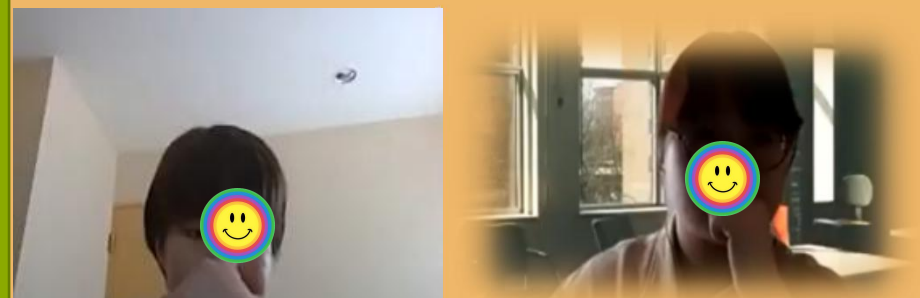
全体写真



告知チラシ



グループワーク



第2回甲府気候若者会議

テーマ『環境と仕事』

オンデマンド動画を作成

視聴者：第1回参加者の24名＋新たな視聴希望申し込み者

SDGsを主に、環境、気候変動、将来のこと、仕事について

講師：秋山恭平
長谷川友子

ParuPi株式会社（TEA&RESTAURANT SPOON）常務取締役
任意団体『snug』代表

甲府気候若者会議

環境と仕事

ANSWER

- SDGs情報拡散 メニュー表の持ち帰り
- 地域清掃
- 節水バブル90
- CO2排出ゼロ お店の電力は自然エネルギーを使用

↑ここに注目↑

自然エネルギー：太陽光・風力・地熱・中小水力など、
温室効果ガスを排出せず、国内で生産できる多様で、
重要な低炭素の国産エネルギー源

2021年のいま、
SDGsをあなたはどう見る？

2021年11月13日
任意団体snug 長谷川友子

おわりに

ご清聴
ありがとうございました。

2021年(令和3年)8月21日 土曜日

県立大生が気候会議 「環境問題 学ぶ場に」

山梨県立大の学生らが若者の環境問題への意識向上を目指す団体「甲府気候若者会議」を立ち上げた。専門家から地球温暖化や気候変動などの環境問題について学ぶほか、意見交換を通して理解を深める。高校生に学んだことを伝える場も設けたいという。3年の田部井陽貴代表は「環境問題をみんなで学び、気付きを得る場にした」と話す。28日にオンラインで第1回会議を開く。



団体は県立大1〜3年生5人を学びエコボランティアに取り組み学生たちが「若者主体で環境問題を考える場をつくりたい」と、4月に立ち上げた。3年の大嶋豊生さんは5〜8月、若者が意見を交わし国などに政策提言を行う「日本版気候若者会議」に計10回オンラインで参加。「国が対策を講じて国民の意識がな」と動かないと、一人一人の意識向上の必要性を感じたという。1年の原田紗奈さんも「猛暑やゲリラ豪雨など身近な気候変動に、若者ももっと関心を寄せてほしい」と話す。第1回会議では、日本版気候若者会議を主催する日本若

山本久美子

若者会議とYSFS事務局の専門家を講師に招き、気候変動の基礎知識などを学ぶ。参加者によるグループワークも

2学期 一足早く

忍野小中 登校時検温実施へ

県内の公立小中学校で最も早く、忍野村の小中学校2校で20日、2学期の始業式が行われた。県内では30日までに公立246全校が順次始業式を行う。

忍野小ではこの日、夏休みを終えた児童577人がマスクを着用して登校した。新型

行。

11月にカードゲームを通してSDGs(国連が掲げる持続可能な開発目標)を学ぶイベントを予定。年々回程度会議を開くほか、新型コロナウイルス収束後には県内の高校で環境問題について伝える活動も行いたいという。

田部井代表は「現状を知ることから始め、自分たちに何ができるかを考えたい。その第一歩にしてほしい」と参加を呼び掛けている。第1回会議は28日午後1時からオンラインで開催。参加無料。申し込み、問い合わせは甲府気候若者会議、メールアドレス:ko.fukukowakam@ono.kagyu@gmail.com



「漢字を覚えられようになりたい」など2学期

2021年8月21日土曜日
山梨日日新聞に掲載されました！